



「五ヶ瀬中学校・学校便り」

学 び 舎

第 2 号

令和4年 4月17日（日）発行

文責：校長 国生 尚

お花の有効活用

入学式や卒業式には、お花は無くしてはならない存在です。本校にはお花を栽培・管理していただける技術員の方がいらっしゃいますので、式典の際には高千穂高校や地域の方のご協力をいただいております。今年も、大変きれいなお花をたくさん準備していただきました。

お花については、卒業式・入学式と、無事役目を果たしてもらいました。さて、ここで困るのが、この後役目を終えたお花をどうしようか、ということです。例年、入学式にご参加いただいた保護者の皆さまを中心にお持ち帰りいただいております。今年も同様にいたしました。けれどもたくさんのお花が残りました。これまでは残ったお花は土に還しておりましたが、それではもったいないということで支援室のアイデアにより「五ヶ瀬町シルバー人材センター」の皆様のご協力をいただき、一部の花壇に植えていただきました。

次年度も、有効活用を図っていききたいと思います。今後は、委員会活動の一環としての活動もできるといいな～と思っています。

※ 通信はモノクロ印刷のため鮮やかな色が伝わらないのが残念です。学校HPにカラー画像を掲載しています。



学校運営協議会が行われました

令和3年度から、五ヶ瀬町全体で学校運営協議会、いわゆる「コミュニティ・スクール」が導入されております。今年度も引き続きコミュニティ・スクールによる様々な教育活動を行っていく予定です。

4月14日（木）に、今年度第1回目となる学校運営協議会が町教委の主催のもと実施されました。本来ならば町内5校が一堂に会しての協議会の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会場を分散してオンライン形式の会議となりました。

ところで、コミュニティ・スクールとは何でしょうか？簡単に説明すると、次の通りです。

学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民の皆さんが参画できる仕組み。（地域の方が）当事者として、子どもの教育に対する課題や目標を共有することで、学校を支援する取組が充実するとともに、関わるすべての人に様々な魅力が広がっていきます。

【コミュニティ・スクールのメリット】

- ①組織的・継続的な体制の構築ができる → 学校職員が替わっても持続可能な仕組み
- ②当事者意識・役割分担 → 子どもを育てるための「目標・ビジョン」を共有
- ③目標・ビジョンを共有した「協働活動」

※第1回運営協議会全体会資料より

また、今年度の学校運営協議会員の皆様は、次の通りです。

秋本 良一様（地域代表：商工会）	飯干 啓司様（地域代表：観光協会）
西本 英幸様（地域学校協働活動推進員）	菊池 淳子様（地域代表：JA）
藤善 誠樹様（教育振興会代表）	

地域があり、子供たちがいてこそこの学校です。上記5名の皆様を、学校・家庭・地域の架け橋として、今年度も様々な活動に、「協働」の視点を大切に取り組んで参りたいと考えております。

